

令和3年度 休校期間中の授業課題について

科目	老年看護	
担当講師	奥先生	
対象学年	2年生(36回生)	
課題内容	講義2回分 ※A4ルーズリーフにて提出すること(表紙付き・学籍番号と氏名を記入)	
	①4月27日(火)	<p>■教科書P15、P37.38、P55.56の復習問題を解く</p> <p>解答のみ記載で可</p> <p>(ページ番号を入れて分かるように記載すること)</p>
	②5月11日(火)	<p>■教科書P41.高齢者看護に求められる基本的姿勢</p> <p>(1)～(10)を箇条書きすること(10個)</p> <p>■教科書P49.障害受容の過程5段階の名称を記載すること</p>
提出期限	5月24日(月)授業時に提出	

※A4ルーズリーフにて提出すること（表紙付き・学籍番号と氏名を記入）

表紙はまとめて1枚のみで可（課題1～8ごとに表紙は不要）

※『注意事項』：課題2～8については、文字数の規定はありませんが、あまり簡潔にしすぎず、正しい理解のための工夫や配慮をしながら記述してください。

※5月12日（水）授業時に提出

課題1 テキスト・新看護学15『精神看護』の第5章、【精神看護の実際】（126～193ページ）を精読し、内容について理解を深めてください。

課題2 【A対象である患者の理解】（126～132ページ）より

「セルフケア状況のアセスメント」と「社会的側面のアセスメント」について説明してください。

課題3 【C患者の権利の擁護と行動制限の実際】（133～147ページ）より

「インフォームドコンセントの実際」について説明してください。

「②患者の行動制限の実際」（138～147ページ）の内容から、ご自身が受けた感想を述べてください。

課題4 【D精神症状・問題となる行動とその看護】（147～158ページ）より

「①不安」から「⑭発達障害および二次障害」のなかから1つ選び、その内容について説明してください。

課題5 【E治療時の看護】（158～165ページ）より

「副作用の看護」について説明してください。

課題6 【F精神科リハビリテーションと看護】（165～168ページ）より

「ICF」について説明してください。

課題7 【G入院中の患者の看護】（169～180ページ）より

「③経過に応じた看護の実際」のなかの、「急性期の看護の実際」、「消耗期（休息期）の看護の実際」、もしくは「回復期の看護の実際」の3つから1つ選び、その内容について説明してください。

課題8 【I地域で生活する患者の看護】（182～193ページ）より

「精神科訪問看護」について説明してください。